

私立大学情報教育協会
平成28年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース報告

A-3班あんどーさん

発表テーマ

自主的な学生の育成

テーマ選定理由(1) 大学の役割

私たちが考えた大学の役割

人間力育成の場

→社会人基礎力(前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力)を備えた学生を社会に輩出していくこと。

役割を果たすために、大学は何をしなければいけないのか

積極的に社会貢献の出来る人材を育成すること

テーマ選定理由(2) 大学の現状

問題

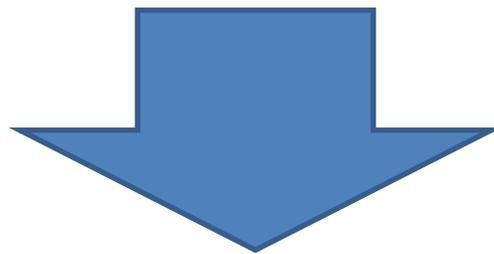
- ・一握りの学生しか活躍していない。
 - 受動的な学生の増加(進学率の上昇に伴う)
 - ≡ (高校生のままの学生?)

役割を果たすために、どのような取り組みが必要なのだろうか？

- ・ 自主性を育めるような機会の提供と周知の徹底
- ・ 学生のモチベーションの向上を図る取り組み

テーマ選定理由(3) このテーマを選んだ理由

学生が自ら考え、学ぶ環境や機会を提供する



自主的な学生の育成

問題点の深堀

一握りの学生しか活躍していない。



周りとの温度差が浮き彫りになる。



主体的な学生の動きを狭める

解決策の検討

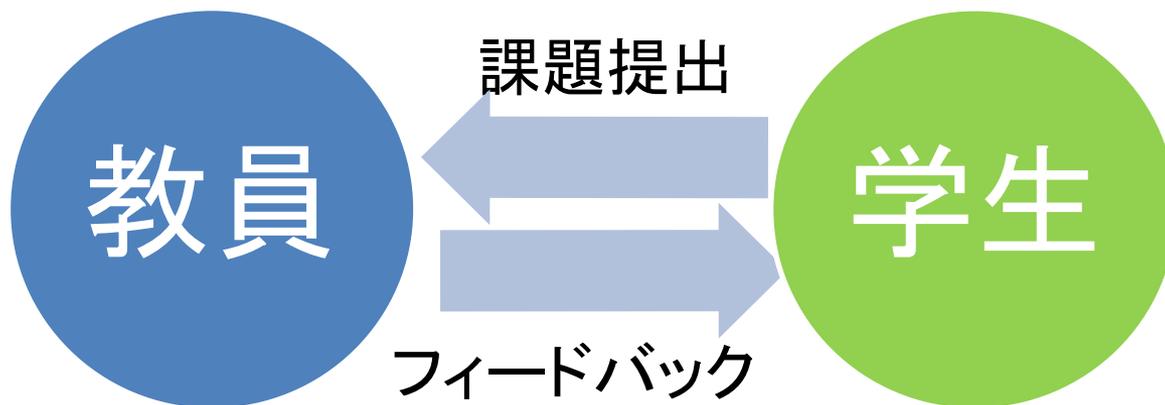
主体的な学生の動きを狭める

- ・主体的な授業を必修科目に取り込む(カリキュラム)
- ・教員にも自主的な学生の育成に参加してもらう

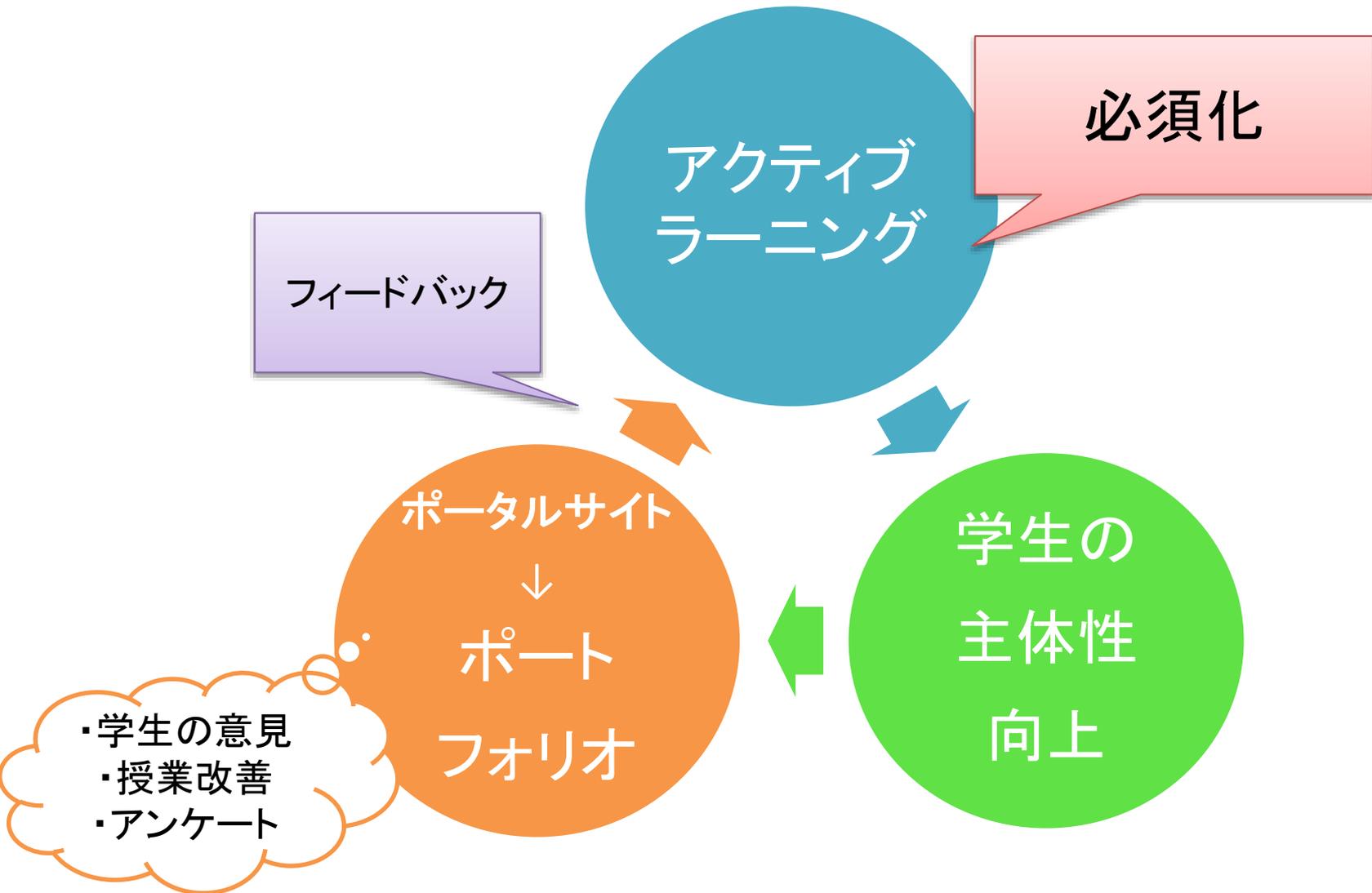
大学のイノベーションの提案①

＜必修科目にアクティブ・ラーニングを取り入れる＞

- ・1年生から自主的な姿勢を育むことができる。
- ・ポートフォリオを活用し、授業の成果を提出する。



主体性育成のサイクル



大学のイノベーションの提案②

<step1:教員のスカウト制度>

ファシリテーターを自分の学びたい分野の教員に担当してもらう。

→主体的に交渉し、行動する楽しさを知ってほしい。

<step2:知を地(域)へ>

行動力を学外でも活かす。

→ポートフォリオに蓄積した成果を

「いつでも どこでも 誰とでも 簡単に」外部に公開することが可能。

学生の行動の幅・ネットワークが広がるのでは？

積極的に社会貢献の出来る人材を育成できる。